

(生活・総合)

## 「いのちを見つめ、表現力豊かな児童の育成」

大阪市立南港光小学校 小野綾香 清水睦子

### 1. 研究主題の設定理由

本校では、学校教育目標に「根強い子」を設定し、たしかな学力（考えぬく力・基礎学力の充実）、じょうぶな体（健康な体・明るく豊かな心）、たくましい力（くじけない行動力・きまりを守る）をめざす子ども像として、日々の教育活動を展開している。

本校の児童の現状と課題を考えると、落ち着いてはいるが、おっとりとしていて、競争心があまりないと感じられてきた。その気風は、物事を素直に受け止め、穏やかに生活する面では良いのだが、その反面、多くの人の前に立って考えを発表することが苦手であったり、積極的に活動し、自分たちで考え、自主的に何かを作りあげることが得意ではなかったりする児童が多い。また、自尊感情が低く、自分に自信が持てない児童も見受けられる。そこで、学校全体として、自己肯定感を高める活動を取り入れることで、自分を表現していける子どもたちの育成につながるだろうと考えた。今年度は、生活・総合の研究に取り組むことにし、研究主題を「いのちを見つめ、表現力豊かな児童の育成」とした。また、本校では、創立40周年を迎えるにあたり、創立40周年の取り組みをこの研究主題と関連させて、年間を通して様々な活動を進めてきた。

### 2. 5年生の取り組み

5年生児童は、素直で男女仲も良く、一緒に遊ぶ姿が見られる。決められたことや言われたことには一生懸命に真面目に取り組む。しかし、自信がないため、主体的に活動することや自らコミュニケーションをとること、自主的に発表することも苦手な声も小さい児童が多くみられる。そこで、総合の時間を主に、他教科・領域との関連を図った指導を通して、自他の生命の尊重や自己肯定感などの自尊感情、他者への思いやりを養うとともに、主体的に考え、表現豊かな児童を育てたいと考えた。そこで、創立40周年の取り組みのひとつであった「自立生活夢中センター」の内田瞳さんとの出会いをきっかけに、その中で自分たちが疑問の思ったこと、気になったことについて、深く考えていくことにした。創立40周年を祝う児童集会では、「南港の町のバリアフリー・ユニバーサルデザイン」を調べ、発表した。

### 3. 研究の視点

研究主題にせまるため、研究の視点を以下のように設定した。

#### 視点① 生活・総合の時間の位置づけの工夫 環境づくり

- 生活・総合の時間の指導を充実させることはもちろんのこと、各教科・領域や外国語活動、道徳、特別活動等との関連を図り、日々の学習のなかでも意識して授業を進めていく。
- 家庭や地域社会との連携を心がけ、学校の特色を生かした生活・総合教育の充実を図る。
- 創立40周年を祝う児童集会の計画を立て、全教職員が学習計画の展開を図り、発表や冊子作りを進める。

## 視点② 協働的・体験的な活動

- 興味のある分野（車いすに乗っている人の立場・お年寄りの立場・目や耳の不自由な人の立場・学校の中、のバリアフリー）に分かれて、自主的にグループで計画を立て、調べ活動を行えるような環境づくりを行う。
- 話し合い活動を通して、自分と異なる考えや思いに接することができるようにする。
- 児童が調べたことをまとめ、発表するための手段として、タブレットやパワーポイントを使用し、一人一人の児童に自分の思いを表現させる。
- ゲストティーチャーとして、「自立生活夢中センター」の方々との交流を通して、施設のバリアフリーだけでなく、心のバリアフリーにも気づくようにする。
- 地域の方々「住之江区太陽地区社会福祉協議会」と連携し、高齢者疑似体験や車いす体験、アイマスク体験を行うことで、様々な方々の思いに気づくようにする。

## 視点③ お互いを認め合う言語活動

- コミュニケーションゲームの活動を通して、児童同士の関係づくりを図ったり、自分の考えや意見を発表する機会を増やす。
- 褒め言葉のシャワーの活動を通して、お互いの良さに気づき、認め合う雰囲気づくりをする。
- 学年内にとどまらず、他学年、地域の方々と交流できる機会を設定し、コミュニケーションを積極的にとろうとする態度を設定していく。

## 4. 研究の成果と今後の課題

### （１）研究の成果

- ◎ 学年の実態に応じて、書く活動や話し合い活動などを設定し、自分の考えや思いを表現する学習を多く取り入れた。
- ① 学校行事と学習活動を関連付け、生活・総合の学習計画を作り、実施できた。
- ② 地域の方々との体験活動やゲストティーチャーとの交流を取り入れたことで、今まで以上につながりを感じることができた。
- ③ お互いのよさを認め合う言語活動を続けたことで、安心して表現し合う環境が整った。発表の機会を工夫したことで児童間のコミュニケーションが豊かになり、自尊感情の高まりにつながった。

### （２）今後の課題

- 主体的・対話的で深い学びができる授業づくりを意識する。
- １年間を通して行ってきた活動を継続して行う。